

西神戸医療センター皮膚科院内フォーミュラリ

(エビデンス・補足)

○皮膚そう痒症

参照ガイドライン：日皮会誌：122（2），267-280，2012（平成 24）

皮膚そう痒症の治療としては「湿疹を伴っているか、伴っていないか」で、ステロイド外用のエビデンスが異なる。従って、湿疹の有無で推奨を分ける。湿疹を伴っている場合は「皮膚そう痒症」＋「皮脂欠乏性湿疹」、湿疹を伴っていない場合は「皮膚そう痒症」＋「皮脂欠乏症（皮膚乾燥を伴っている場合）」とする。

○接触皮膚炎

接触皮膚炎診療ガイドライン：日皮会誌：119（9），1757—1793，2009

急性の湿疹であり、比較的強いランクのステロイド外用を必要とする。

（注：ステロイド外用のランクについては、ガイドラインに記載はない）

○アトピー性皮膚炎など全身の皮疹

アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021：

ステロイド外用の範囲が広範囲にわたることより、大量に外用する場合は Strong クラスのステロイド外用薬を推奨するが、重症度に応じて Very Strong クラスを用いてもよい。Strong クラス以上のランクでは 1 日 1 回と 2 回外用の効果に有意差はないとするランダム化比較試験がある。